

3月例会「春風・もうそう竹の工作教室」報告

平成31年3月10日(日)午前10時~12時10分、立田山野外保育センター雑草の森。立田山野外保育センターとの共催。参加者35名(会員13名)。

前日の晴天が嘘のようです。早朝から降り続く雨は止むことはありません。しかたなく雑草の森の「みんなの部屋」(室内)で開催することになりましたが、雨にもめげず「自然大好きファミリー」が次々と訪れてにぎやかな例会となりました。

最初は孟宗竹の特徴や利用方法の勉強です。紙芝居「孟宗竹ものがたり」を見て、「孟宗竹は中国三国時代の孟宗という人にちなんで名付けられた」「孟宗竹は100日で若竹になる」「孟宗竹は放置すれば自然破壊、上手に使えば環境保護になる」といった話を子ども達は真剣に聞き、大人達も大きくうなずいていました。

みんなで「秘密基地づくり」を楽しみます。子ども達は力を合わせ、部屋の隅っこに置いてある「基地の骨組み」「孟宗竹の屋根」「四方の壁板」を部屋の中央に運び、秘密基地を組立てていきます。

最初は、お爺ちゃんやお父さんに手伝ってもらいながら「骨組み」に「屋根」を並べます。

次に「壁板」にクスの葉っぱ、アオキの葉っぱを貼り付けて秘密基地らしくカムフラージュします。クスの葉っぱには「みどりの葉」と「枯れた葉」があり、指導員から「どんな匂いがしますか?」と聞かれて、「レモンみだいいい香り」と子ども達。「ゲッケイジュやニッケもクスの仲間であること」「昔はクスノキから樟脳(しょうのう/衣服の防虫剤)を作っていたこと」なども教えてもらいました。

いよいよ四方の壁の組み立て。子ども達は待ちきれず、組み立て中の秘密基地に入ろうとしますが指導員から「まあだ」「ダメダメ」と制止されて不満顔です。壁ができれば、孟宗竹の棟瓦を乗せ、鬼瓦代わりに孟宗竹のカタツムリを取付けて秘密基地は完成。みんなで万歳三唱をして完成を祝い、子ども達は順番に秘密基地の中に入り大喜びでした。

次は工作教室にチャレンジ。子ども達は思い思いに、竹の部材でできた「胴体」「殻」「目玉」を揃えてカタツムリを作ります。あっという間に完成させる子もいます。

カタツムリができた子どもから順に「マイカップづくり」にチャレンジ。長い真竹を、ノコを使って切ります。子ども達は初めて握るノコに悪戦苦闘しながらも、スタッフに手伝ってもらいながらなんとかカップを切り出すことに成功。カップはサンドペーパーで切り口を磨いて仕上げます。子ども達に負けまいとお父さんやお母さんも頑張りました。

最後はココアタイム。頑張ったご褒美に秘密基地の中でココアをのんでもらいたかったのですが、参加の子ども達の数が多くて、残念ながら秘密基地の前に座って飲むことになりました。それでも子ども達は大満足の様子でした。

予定の正午を少し過ぎて「終わりの会」をして例会を無事終了。閉会後もしばらく秘密基地で遊ぶ子ども達、お母さんから記念の写真を撮ってもらう子ども達もいました。

小さな子どもの参加が多くケガや事故を心配しましたが、進行を快くお手伝いいただいたお爺ちゃんやお父さん、お母さんに助けられました。おかげで子ども達の笑顔あふれる30年度最後の例会を無事終了でき感謝しています。31年度もよろしくお願いいたします。

